



平成 28 年 8 月 1 日

各 位

会社名	倉庫精練株式会社		
代表者名	代表取締役社長	中前	和宏
コード	3578 東証 2 部		
問合せ先	総務リーダー	上田	紀昭
電話番号	076-249-3131		

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、上場廃止の時価総額基準の経過措置期間が終了した、平成 28 年 7 月において時価総額が 10 億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社は、東京証券取引所と大阪証券取引所の市場統合日（平成 25 年 7 月 16 日）の前日において大阪証券取引所に単独に上場しておりましたが、市場統合による東京証券取引所の時価総額基準への変更に伴い、市場統合日以降 3 年間の経過措置期間が適用されておりました。

当社株式は、経過措置期間が終了した、平成 28 年 7 月において月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円未満となりました。東京証券取引所では、月間平均時価総額または月末時価総額が 10 億円未満となった場合、有価証券上場規程第 601 条第 1 項第 4 号 a 本文により、9 ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3 ヶ月）以内に、月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

（ご参考）

- ①平成 28 年 7 月の月間平均時価総額 643,321,027 円
- ②平成 28 年 7 月の月末時価総額 635,466,942 円
(7 月 29 日終値 89 円×7 月 29 日上場株式数 7,140,078 株)

2. 今後の見通しについて

当社グループは、国内外の事業環境の変化、輸入原材料価格の高止まり、企業間競争の激化など厳しい環境の中、平成 28 年 3 月期には、前期に対し、売上高の増収と営業損失及び経常損失の圧縮を果たしましたが、2 期ぶりに親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。

こうした状況の下、英国の EU 離脱など世界経済の急激な変動による株価の推移や円高の進行といった外的要因の影響もあり、時価総額基準に抵触いたしました。国内事業では、工場集約の最適化を追及した生産効率と更なる収率の改善、得意とする素材・加工の開発・販売、海外事業では、メキシコ生産拠点の拡大化・安定化を含めた事業計画を強力に推進し、企業価値の向上を図ることにより、引き続き東京証券取引所における上場を維持するよう最大限努力してまいり所存であります。

なお、今後平成 28 年 10 月末までの間に、東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善、その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上